

夢の宅配便

小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

1 組…帰りの会、チャイムで着席！

帰りの会を、開始のチャイムでなかなかスタートできないことが1年生の課題となっています。帰りの会を担当する司会の生徒が前に出てきても、カバンの中に教科書を入れていたり、着替えをしていたりしている生徒が何人かいて、帰りの会をスムーズに進められないのです。「始まりのチャイムが鳴ったら、自分のことは後回しにして、帰りの会を優先しよう。」と学年だよりでも書きました。

昨日、帰りの会をスムーズに進められるかなと廊下から見ていました。すると、1年1組の教室から「座って!」「座ろうよ!」と呼びかけの音が、始まりのチャイムが鳴ると同時に一斉にあがりました。みんながあっという間に自分の席について、帰りの会がスタートしました。その光景を見て、私は素晴らしいなと思いました。帰りの会を時間通りにスタートしようとする気持ちをクラスみんなで持って行動したところがとても良いと思いました。みんなで、時間にけじめをつけて帰りの会を進めるんだ、帰りの会を大切な時間とするのだ、という気持ちが伝わって来ました。クラスの中で、「座ろうよ!」などの呼びかけができるクラスは、どんどん集団を高めていくことができると思います。給食の準備、掃除の時間、などで「ちゃんとやろうよ!」「早く、準備しようよ」というような呼びかけをする場面が沢山あると思います。その時、その時に気がついた人が、自然と声をかけていける集団になってほしいです。そして、声をかけられたら、1組のように、みんなでその呼びかけにこたえていくことが大切だと思います。呼びかけにみんながこたえて一斉に座った1組を見て、この雰囲気学年全体に広がってほしいと思いました。頑張れ1年生!頑張れ黄色学年!

お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん
からのメッセージ! NO.6

「中学生時代の思い出など」

ペンネーム (チェルシー)

私が中学生だったのは、ちょうど30年前で、その頃の小田原市は今みたいに、たくさんのショップはなかったし、スマホもネットも利用しておらず、良い事も悪いことも全て自分自身で経験するしかなかった!

今思えば変な失敗や、やらかした事、恐怖体験、めっちゃ恥ずかしい思い出! (笑)! 中学生の時に山ほどありました。でも、意外と大丈夫だった。なぜなら、ほとんど皆が、実はそんな風に失敗したり、ハズいことをしていた(らしい)から! 人のこと笑えない、馬鹿にもできない。友達って変なことでも分かり合える存在ですよ。そんなこれからの中学生時代を精一杯、楽しんでくださいね。